

試合実施上の注意事項(令和4年3月)

岐阜市学童野球協議会

1 試合時間等

・試合開催の日

大会は、土・日・祝日に行う

学校行事については考慮しますが、それ以外は原則として一切考慮しない

・イニング数及び試合時間

イニング数は6回戦、試合時間は90分。【5回若しくは90分経過で試合成立】、

新4年生大会は5回戦、70分とする。

試合終了時に得点差がないとき、6年生＝タイブレーク、4・5年生＝抽選で決する。

・タイブレーク方式

前回の継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者にして、無死1塁・2塁で行う。(決勝戦は決着がつくまで)

・コールドゲーム

4回終了時10点差以上、5回終了時7点差以上の差が生じたとき。

(代表決定・優勝戦も適用)

・投手の球数制限

1日70球までとし、打者の途中で投球制限に達したときは、その打者の打撃が完了するまで投ずることが出来る。(4年生以下の制限数＝60球)

・時間制限の通告

イニングの初めに最終回となる旨を通告することがある。この場合、時間が残ったときでも通告したイニングが最終回となる。

2 安全配慮

・ボールケース

硬質製(プラスチック・金属等)のボールケースの球場内使用を禁止する。

布製等を使用。

・試合前の練習

球場周辺の駐車場や敷地内でのキャッチボールや複数での素振りを禁止する。

第1試合前の練習は、事前に審判員の許可を受けること。

フリーバッティングは禁止する。

・捕手のファウルカップ

捕手は、ファウルカップを必ず着用すること。

3 試合のスピード化

・先行 or 後攻の決定

第1試合＝グラウンド整備終了後、第2試合以降＝前試合の2回終了時に行う。

- ・その回の先頭打者は、投手の準備投球の間、次打者サークル内で待機すること。
- ・投手はボールを受取ったら速やかに投手板に軸足を置き、投球姿勢をとること。
- ・四球を得た打者は、バッターボックスの枠外にバットを置き、速やかに一塁に向かうこと。
- ・攻守交代の際、捕手が装具を着用するときは、次打者サークル付近で行い、控え選手又は指導者が補助すること。また、この際の投手の準備投球を、控え選手 or 指導者がマスクを着用の上、受けること。

4 その他

- ・試合中、グラウンドに出て指導出来るのは監督に限り、メガホンはベンチ内1本以下に限る。
- ・ベンチ内でのスマホ、ビデオ機器等の使用を禁止する。
- ・投手が投球動作を開始したら投手の動揺を誘うような大声を発しないこと。
- ・ホームベースのサイズを一般と同じにする。